

決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

株式の状況

株式の分布

大株主

株主メモ

VOICE

株式会社ファンコミュニケーションズ
2023年12月期（第25期）報告書

2023.1.1 ▶ 2023.12.31

私たちは「生産を楽しむ消費者」を応援します。

プロシューマー。
ハピネス

RESTART
FANCOM

証券コード2461

決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

株式の状況

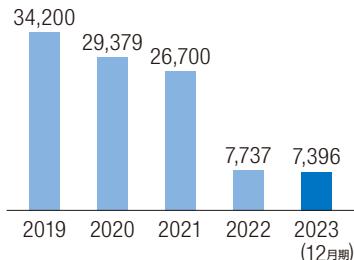
株式の分布

大株主

株主メモ

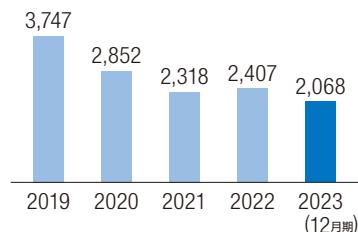
財務ハイライト

● 売上高 [百万円]

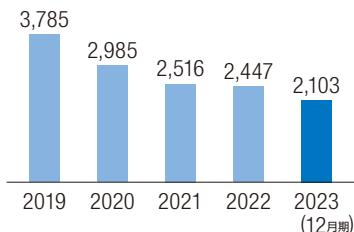


※ 2022年12月期首の会計基準の変更に伴い、売上高は2021年12月期以前と比較して大きく減少しています。

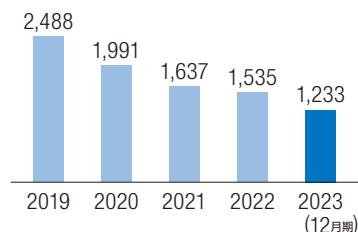
● 営業利益 [百万円]



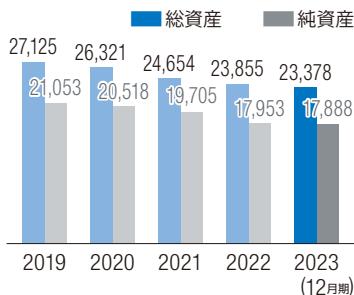
● 経常利益 [百万円]



● 親会社株主に帰属する当期純利益 [百万円]



● 総資産／純資産 [百万円]



● 1株当たりデータ (純資産／当期純利益) [円]



決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

株式の状況

株式の分布

大株主

株主メモ

当期の業績

POINT

新規事業に取り組む一方、
「nend」の不振で減収減益となりました。

● 2023年12月期連結経営成績

[百万円]

	2023年 12月期	2022年 12月期	増減率
売上高	7,396	7,737	△4.4%
営業利益	2,068	2,407	△14.1%
経常利益	2,103	2,447	△14.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,233	1,535	△19.7%

※ 「収益認識に関する会計基準」等を2022年12月期首から適用しております。

消費者のデジタルシフトが進み、コロナ禍を契機とした社会や働き方の多様化、デジタル施策への取り組みが加速する中、ネット広告市場は、大手プラットフォームによるSNS広告や動画広告を中心に需要が継続しています。

また国内では、消費税のインボイス制度やステルスマーケティング規制が2023年10月からスタートしています。当社グループの主力サービス「A8.net」においては、消費税の免税事業者の登録が多いことから、インボイス制度施行に伴い売上高に影響がございましたが、今後、提供サービスの付加価値を高め、利益率の向上に努めてまいります。

決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

株式の状況

株式の分布

大株主

株主メモ

こうした中、当社グループは、既存事業の再成長、新規事業の企画・開発、生産性向上に向けた取り組みに注力いたしました。しかしながら、主力サービスである「nend」が期を通して減収が続いたため、売上高は前期比4.4%減、経常利益は前期比14.1%減の減収減益となりました。

決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

株式の状況

株式の分布

大株主

株主メモ

セグメント別の状況

POINT

厳しい中でも「A8.net」が
比較的堅調に推移しました。

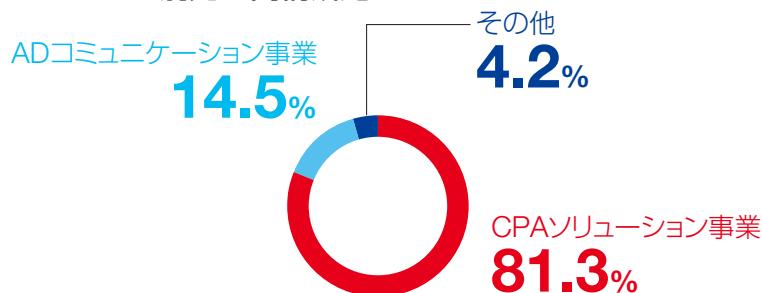
● セグメント別の経営成績

[百万円]

	2023年12月期		2022年12月期	
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益
CPAソリューション事業	6,011	3,434	6,029	3,483
ADコミュニケーション事業	1,074	△408	1,250	△160
その他	310	△109	457	△88

※ △は損失

● セグメント別売上高構成比



決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

株式の状況

株式の分布

大株主

株主メモ

CPAソリューション事業

主力のアフィリエイト広告サービス「A8.net」は、新規広告主の獲得に注力し、稼働広告主数が伸長して売上高が増加しましたが、メディアの掲載面の確保やインボイス制度施行により利益率が低下しました。また、定期継続購入のすべてに成果報酬が設定できる「継続型アフィリエイト機能」をリリースしました。

一方、アプリインストール広告サービス「seedApp」は、ゲームカテゴリの鈍化を受け売上高が減少しました。

ADコミュニケーション事業

主力のスマホ向けアドネットワークサービス「nend」は、プライバシー問題に準拠したApple社が提供する「SKAdNetwork」への対応のほか、固定費の削減に努めましたが、稼働広告主数の減少及び特定広告主の売上が減少したことなどにより減収となりました。

なお、2023年12月22日の取締役会において、これまで主力事業として推進してきた「nend」について、2024年3月29日を以って広告配信を停止しサービス終了する決議をしております。今後は「nend」に投下していた人材リソースを「A8.net」や「新規事業」に投下してまいります。

一方で、お笑いラジオアプリ「GERA」や連結子会社の株式会社ファンコミュニケーションズ・グローバルが手掛けるハイパーカジュアルゲームの配信など新規事業の企画・開発投資を拡大しています。

決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

株式の状況

株式の分布

大株主

株主メモ

その他 Seesaa

連結子会社のシーサー株式会社が運営する「Seesaaブログ」を主力とするブログメディア事業において、PV減少に伴い広告収入が減少したことなどにより減収となりました。また、新規事業投資において、オンラインサロンプラットフォーム「YOOR」にリソースを集中させています。

一方、コスト面では、前期にソフトウェアの減損処理を実施したことから、減価償却費が縮小しています。

なお、2023年11月17日開催の取締役会において、当社を吸収合併存続会社、シーサー株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併契約を決議し、2024年1月1日付で合併いたしました。

決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

株式の状況

株式の分布

大株主

株主メモ

トップインタビュー

当社の成長を託して、
新しい世代にバトンを渡します。



取締役 執行役員
二宮 幸司

代表取締役社長
柳澤 安慶

※役職は2024年3月1日時点

決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

株式の状況

株式の分布

大株主

株主メモ

ごあいさつ

ネット広告市場は引き続き成長しておりますが、ネットそのものが日常の中で当たり前の存在となり、その成長率は鈍化してきております。また、米国巨大ネット企業の国内広告市場の寡占化はますます進んでおり、当社のような国内メディアの広告を管理する企業は厳しい局面にあります。

そのような中で2023年度は、主力のアドネットワークサービス終了の決定や、子会社の吸収合併など、業績としては一旦マイナスになっても、身軽になる事業再構築を進めてまいりました。当社の抱えるサービスの中で本質的な価値があるものを残し、そこにリソースを再分配し成長を促します。また、次の成長の種となる新規事業に対しても、積極的な投資を継続しております。

そして2024年度は、私たち創業メンバーから次の若い世代に経営のバトンを渡してまいります。ネットを通じて「個人や中小事業主の生活をより豊かなものにしていく」という私たちの創業の原点に立ち返り、「プロシューマー・ハピネス」というビジョンのもと、再び成長の軌道にのせていきたいと考えております。

代表取締役社長 **柳澤 安慶**

決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

株式の状況

株式の分布

大株主

株主メモ

Q ネット広告市場の現状とその影響について教えてください。

ネット広告市場の成長率は、次第に低下してきています。その理由は、ネット動画広告も含め一般消費者にとってネット広告が当たり前のものとなり、広告効果そのものが低下傾向にあることや、コロナ禍で急激に高まったネット利用の反動の影響などにあると思います。

また、米国巨大ネット企業が提供するSNSなどのサービスの利用率はますます高まりを見せており、ネット広告市場の寡占化も進んでおります。そんな中で、当社のような国内メディア中心に展開する広告事業者は苦戦を強いられております。

一方で、これまで米国企業が競争優位としていたアドテクノロジーは、消費者のプライバシーに対する意識の高まりや、頻繁に表示される広告への不快感から衰退傾向にあり、当社が提供するメディア運営者が広告を独自に選ぶような運用型の広告サービスが、再び注目されるようになってきています。

そうした中で、国内のEコマース普及率は欧米に比較するとまだ低く、コロナ禍を経て生まれた新しい消費習慣の中で、新しい基軸で費用対効果考えたネット広告は、今後も着実に成長するものと考えております。

決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

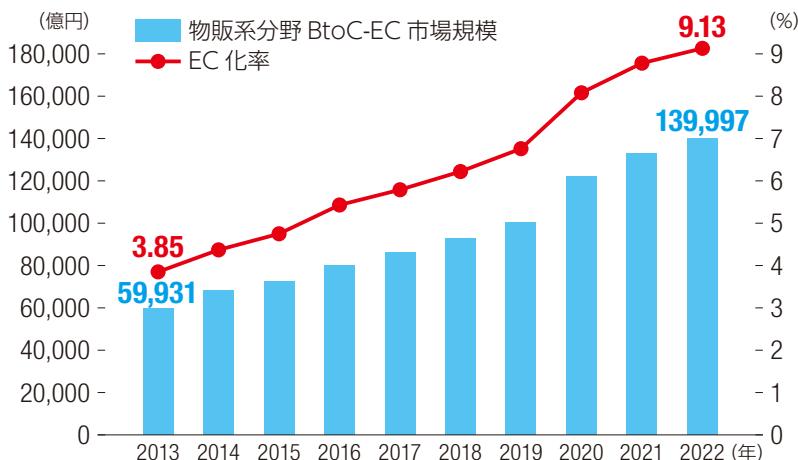
株式の状況

株式の分布

大株主

株主メモ

● 国内Eコマース市場規模の推移



出所：令和4年度電子商取引に関する市場調査報告書（経済産業省）

Q 事業再構築を進めているとのことですが、具体的にはどんな進捗でしょうか？

まずは価値を失っている事業をはっきりさせて、しっかり撤退することが大切だと思っています。コロナ禍でネット広告市場が大きく変化する中で、変化に対応することでまだまだ成長の余地があると考えて続けてきた事業も含め、このタイミングで「やる」「やめる」を判断しました。

まずは、独自性を優先してきた赤字子会社を吸収し、やらないことを明確にしました。さらにここ10年、主力サービスとして開発・展開してきたスマホ向けアドネットワークサービスの「nend」も終了することにしました。

一方で、アフィリエイト広告サービスとして20年以上の実績を持つ「A8.net」は、プライバシー問題、表現やステマ規制

決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

株式の状況

株式の分布

大株主

株主メモ

などに対応するため停滞を続けておりますが、費用対効果に対する広告主の期待は大きく、今後も事業伸長の可能性が高いと判断し、ここにリソースを再分配し、高付加価値化や周辺サービスの拡充を目指すことにしています。

もちろん、「A8.net」の改善は以前から続けていることですが、ここでもう一度明確にやるべきことを決めて、着実に成長軌道に戻そうという狙いです。

また、以前から新規事業を専門に立ち上げるセクションを持ち、その中でトライ&エラーをしてきましたが、よりスピードを上げていきたいと思えます。さらに、当社の数万を超える取引実績のある顧客資産を活かし、より収益を上げることができる事業にフォーカスしていくような再配置をおこなっております。

Q 再成長を目指す「A8.net」の現状と課題について教えてください。

「A8.net」の当期は、わずかながらですが売上高を伸ばしている状況です。しかしながら、アフィリエイト広告サービスはここ数年、プライバシー問題や広告表現の規制など市場環境的にはマイナスな要因が多く、成長が停滞しております。

一方で、激しいネット広告市場の変化の中でも安定的な収益を実現していることも事実です。これはやはり、アフィリエイト広告のもつ「成果報酬」という価値が、広く広告主に支持されているからであり、誰でも低コストでコンテンツを作成でき、メディアとして利用できる敷居の低さもその要因だと考えています。

決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

株式の状況

株式の分布

大株主

株主メモ

そのため、今後の国内のEコマース市場が成長していく中で、やはりなくてはならないサービスの一つだと感じております。そこで、この「A8.net」の持つ本質的な価値を高めることで再成長の軌道にのせたいわけですが、いちばん大切なことは、国内に幾多とある競合サービスとの差別化だと考えております。

「A8.net」は、多くの広告主とメディアに利用していただいている国内最大級のサービスですが、もっと使っていただく広告主の数を増やすことで、もっとメディアにとってなくてはならない、国内で圧倒的な広告サービスにする必要があると思います。

広告主を増やすためにどうするか?そのために、創業時のマインドに戻って営業体制を強化し、サービスの継続率を高める対応に積極的な投資をしていきます。

また、「A8.net」は24年も続くサービスですから、運営体制そのものが保守化してしまっているという弱点があります。そうした古い体制を一度分解し、顧客志向に立ち返ってリソースを再分配することで、次の成長に向けた組織に作り変える必要性を強く感じています。

一旦、組織をコンパクトにしてリソースを分配し、不足部分を確認しながらもう一度組織を積み上げていく——ということをしていきたいと考えています。

決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

株式の状況

株式の分布

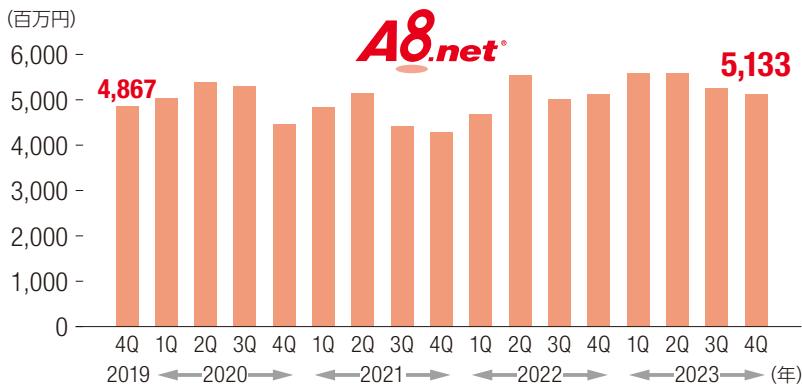
大株主

株主メモ

「A8.net」の主要データ

● 取扱高の推移(四半期ベース)

※ 取扱高は2022年12月期以降において過去との増減分析のため社内で算出した数値。2021年12月期まで売上高として公表。



● 稼働広告主数と登録パートナーサイト数

	2022年 12月期	2023年 12月期	増減率
稼働広告主ID数	3,328	3,472	+4.3%
登録パートナー サイト数	3,206,592	3,381,945	+5.5%

Q 新規事業の状況はいかがでしょうか？

当期も年間で4億円程度の新規事業投資をおこなっております。当社は「プロシューマー・ハピネス」というビジョンを掲げており、消費者が単なる消費者でなく、情報発信や生産

決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

株式の状況

株式の分布

大株主

株主メモ

を通じてサービス作りそのものに参加していけるような新規サービスの立ち上げを目指しています。

その中で、ファンコミュニティ分野のサービスが少しずつ育ってきております。来期はこの分野を新規事業部門から切り出して新たなセクションを作り、収益成長を追いかけいきます。また、LINEやInstagramなどのSNSを通じて企業のマーケティングをサポートするような新規サービスの立ち上げも目指しています。

これらのサービスは、既存サービスの「A8.net」などを利用いただいている当社のお客様に対しては親和性が高く、より短期間で事業化できるのではないかと見込んでおります。

また大切な概念として、当社と一度でも取引していただいたお客様には、それをきっかけに、継続的に様々なサービスを利用していただくことで、効率良く売上をストックしていけるような仕組みを作っていきたいと考えております。

Q コロナ禍が明けて、働き方はどのようになってきたのでしょうか？

少しずつオフィスの稼働率が上がってきておりますが、当社は引き続きオンラインとの併用によるハイブリットな働き方を目指していきたいと考えております。

コロナ禍に対応するため、席を固定しないフリーアドレスの環境を構築しましたが、今後オフィスの活用をより効果的なものにするために、再度レイアウトの変更や家具類の整備などを進めております。

決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

株式の状況

株式の分布

大株主

株主メモ

スタッフが働きやすい環境を第一に、最適なオンラインコミュニケーションツールの導入や、フロア面積を柔軟に見直すことで、コストをコントロールしていきたいと考えております。

Q 社長交代の経緯と、その目的について教えてください。

コロナ禍以前より、創業メンバーから次の若い世代に経営を移す準備をしてきました。コロナ禍で少し移行に時間がかかってしまいましたが、ようやく機が熟しました。

新社長の二宮は新卒で当社に入社して以来、「A8.net」の営業で活躍し、「nend」をはじめとする様々な新規事業に取り組んでまいりました。また、早くから経営にも関与し、われわれ創業メンバーの考え方やノウハウをしっかりと吸収してきました。自分の立てた目標にしっかりとコミットできる人物です。

当社は創業から24年を経て、売上や財務が安定している半面、逆に保守化してしまい成長のためのリスクを取れない場面も増えていると思います。新経営体制へ移行するタイミングを第二創業期ととらえ、人心を一新して再び成長企業に戻る。そんな変革への期待を込めた社長交代です。

Q 来期(2024年12月期)の業績予想についてご説明ください。

通期で売上高は69億8,000万円(当期比5.6%減)、営業利益は19億1,000万円(同7.6%減)の予想を立てています。減

決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

株式の状況

株式の分布

大株主

株主メモ

収の主な要因は、主力サービスであった「nend」終了に伴うものです。「A8.net」は増収の計画です。減益の主たる要因は、「nend」終了や子会社吸収による事業再構築に伴うコストが一時的に上昇するためです。

また、新たに「N-INEシリーズ」など戦略的新規事業の立ち上げを予定しており、投資金額は6億程度を想定しています。期中に少しずつ売上を伴いコストを吸収していく計画になっております。

一方、通期の当期純利益だけは15億1,000万円(同22.5%増)と増益予想になっていますが、これは赤字子会社吸収による財務上の繰越欠損金の利用による影響です。

● 2024年12月期連結業績予想

[百万円]

	2023年 通期実績	2024年 通期予想	増減率 (対前期比)
売上高	7,396	6,980	△5.6%
営業利益	2,068	1,910	△7.6%
経常利益	2,103	1,920	△8.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,233	1,510	22.5%

Q 来期の具体的な取り組みについて教えてください。

まずは「A8.net」を再成長の初年度と捉え、営業重視の体制に組み替えます。新規顧客獲得数の増大、サービスの継続

決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

株式の状況

株式の分布

大株主

株主メモ

率向上を目的にリソースを集中的に投下していきます。また、お客様の満足を高めるためには、広告を通じての送客だけではなく、顧客サイトの内部構造や表現が広告効果にとって重要になるため、マーチャンダイジングにも踏み込んだ提案ができるコンサルティングサービスも投入していきます。

新規事業に関しては、「A8.net」の広告主にすぐに利用していただけるようなSNSを活用したマーケティング支援サービス「N-INEシリーズ」の開始を予定しております。「A8.net」利用との相乗効果で顧客満足度を高めてもらい、当社との取引をより継続的なものに変えていただくよう働きかけてまいります。

新規事業ではさらに、お笑いラジオアプリ「GERA」やスポーツ選手へエールを送れるサービス「Triggerr」などのファンコミュニティ分野で、しっかり収益を上げられるようにすることを目指します。

また、子会社「ファンコミュニケーションズ・グローバル」が手掛けるゲームパブリッシング事業が来期より本格的な投資フェーズに入るため、収益的に大きく伸びることを見込んでいます。



お笑いラジオアプリ
GERA (ゲラ)
<https://gera.fan/>



アスリート向けプロフィールキュレーションサービス
Triggerr (トリガー)
<https://landing.triggerr.fan/>

決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

株式の状況

株式の分布

大株主

株主メモ

Q 今後の経営戦略について教えてください。

社長交代というある意味、過去を捨てるタイミングもそういうことですが、来期を第二創業期の1年目ととらえ、3力年で成長軌道に戻すことを目標としています。そのため、初年度にあたる2024年12月期は極めて重要な年度となります。まずは過去の考え方や、保守的になっている組織や仕組みから脱却し、たとえ批判にさらされたとしても自分たちのスタート地点として相応しい場所を作り上げる必要があると思います。

当社は小さな組織としてスピードを大切にしながら競合と差別化してきたのですが、ここ数年で組織が500名を超え、大企業的なプロセスが増えてしまいました。もう一度、創業のスピリットに戻り、スピード感を取り戻せるかが重要です。そのうえで、2年、3年と数字を積み重ねていければ、再成長の可能性を実感できるのではないかと考えています。

既存事業にしても、新規事業にしても、当社が今まで目指してきたビジネスモデルは、お客様と長くつながれる仕組み作りです。一過性の取引ではなく、お客様に提供できる価値と当社の売上が同時に積み上がっていくようなストック型のビジネスを目指します。

また、創業以来大切にしてきた考え方に、お客様あるいは当社のサービス作りに参加していただくプロシューマーの皆様、そして当社、この3者がともにwin-win-winになる関係を作り上げるというのがあります。ネットワークやデジタルという力を活用し、共に価値を分かち合えるような事業開発を

決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

株式の状況

株式の分布

大株主

株主メモ

進めてまいります。新社長を中心にきっとやり遂げてくれるものと信じております。

Q 資本コストや株主還元策などの方針について教えてください。

東京証券取引所の市場改革において、当社はプライム市場を選択いたしました。したがって今後は、財務的にも資本効率的にもプライムに相応しい企業を目指していかなければなりません。その中でまず大切にしなければいけない指標は、ROEではないかと考えています。

当社は上場以来、着実に利益を積み重ねてまいりましたので、無借金でかつ、事業規模に対しては潤沢なキャッシュを保有しております。しかしながら、ここ5年余りの業績の伸び悩みで、残念ながら株主資本の効率は急激に低下してきております。来期の業績予想でも、吸収した赤字子会社の繰越欠損金があるためにROEは8%台となりますが、プライム市場の平均には届かないかもしれません。まずは二桁、最終的には15%前後のROEを安定的に出せるような企業を目指すべきだと思います。したがって財務的には、プライム市場に存続することを前提に株主資本の効率化を目指してまいります。

また、そのうえで株主還元に関しては、現在、配当性向50%を目安とさせていただいておりますが、資本効率を前提に来期も配当性向50%を大きく超えることを許容する考えで、19円という配当予想を設定させていただき、安定配当を最優先しております。

決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

株式の状況

株式の分布

大株主

株主メモ

しかしながら、過去何期にもわたり19円据え置きで、増配ができていないことを遺憾に思っております。できるだけ早期に業績を上向かせ、配当性向50%でかつ19円を上回る配当を実現できるように努力してまいります。

● ROEの推移

	2019年 12月期	2020年 12月期	2021年 12月期	2022年 12月期	2023年 12月期
ROE(%)	12.2	9.6	8.2	8.2	6.9

Q 最後に、株主・投資家の皆様にメッセージをお願いします。

私は当期で社長を降りますが、創業から24年という長い間、株主や当社の成長を支えていただいた投資家の皆様には、大変お世話になりました。心から感謝いたします。

企業というのは収益を上げることも重要だと思いますが、それよりも存続することがさらに大切です。そんな考え方の中で、今回、次の世代に経営のバトンを渡すことができ、大変うれしく思います。また、そのバトンを渡す中心メンバーが、当社に新卒で入社し、当社のカルチャーを体感しながら知識と経験を身につけた仲間であることを誇りに思います。

ここ何年か利益が伸び悩み、株主の皆様にご心配をおかけしておりますが、それはひとえに私の力不足でございます。次の世代の経営チームは、私の及びもしない発想と大胆さで

決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

株式の状況

株式の分布

大株主

株主メモ

当社を再び成長させてくれるものと確信しています。株主・投資家の皆様には、引き続きご支援くださいますよう、よろしくお願いいたします。



決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

株式の状況

株式の分布

大株主

株主メモ

連結貸借対照表

[千円]	前期	当期
	2022年12月31日 現在	2023年12月31日 現在
資産の部		
流動資産	20,976,075	21,155,201 ◀1
固定資産	2,879,078	2,223,020 ◀2
資産合計	23,855,153	23,378,221
負債の部		
流動負債	5,764,173	5,372,257 ◀3
固定負債	137,200	117,356
負債合計	5,901,374	5,489,613
純資産の部		
株主資本	17,848,369	17,725,011
その他の包括利益累計額	27,356	80,066
新株予約権	78,053	83,529
純資産合計	17,953,779	17,888,608 ◀4
負債純資産合計	23,855,153	23,378,221

1 流動資産

増加の主な要因は、売掛金が356,985千円減少した一方、現金及び預金が316,404千円増加及び有価証券が296,548千円増加したことによります。

2 固定資産

減少の主な要因は、投資有価証券が460,561千円減少したことによります。

3 流動負債

減少の主な要因は、未払法人税等が182,275千円減少及び買掛金が142,918千円減少したことによります。

4 純資産

減少の主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益を1,233,110千円計上した一方、配当金の支払いにより1,259,894千円減少したことによります。

決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

株式の状況

株式の分布

大株主

株主メモ

連結損益計算書

[千円]	前期	当期
	2022年 1月 1日から 2022年12月31日まで	2023年 1月 1日から 2023年12月31日まで
売上高	7,737,529	7,396,661
売上原価	1,638,975	1,462,481
売上総利益	6,098,553	5,934,179
販売費及び一般管理費	3,691,368	3,866,131
営業利益	2,407,185	2,068,048
営業外収益	75,360	69,436
営業外費用	34,899	34,415
経常利益	2,447,646	2,103,069
特別利益	833	312
特別損失	146,475	213,841
税金等調整前当期純利益	2,302,004	1,889,539
法人税、住民税及び事業税	806,877	683,320
法人税等調整額	△40,170	△26,892
法人税等合計	766,707	656,428
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,535,296	1,233,110

決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

株式の状況

株式の分布

大株主

株主メモ

連結キャッシュ・フロー計算書

[千円]	前期	当期
	2022年 1月 1日から 2022年12月31日まで	2023年 1月 1日から 2023年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,476,409	1,510,247 5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,542,316	21,007 6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,302,968	△1,316,560 7
現金及び現金同等物に係る換算差額	62,681	10,835
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,306,193	225,530
現金及び現金同等物の期首残高	19,362,918	17,056,725
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	21,003
現金及び現金同等物の期末残高	17,056,725	17,303,258

5 営業活動によるキャッシュ・フロー

収入の主な要因は、法人税等の支払額が834,320千円あった一方、税金等調整前当期純利益を1,889,539千円計上したことによります。

6 投資活動によるキャッシュ・フロー

収入の主な要因は、無形固定資産の取得による支出が138,933千円及び投資有価証券の取得による支出が96,895千円あった一方、投資有価証券の償還による収入が300,000千円あったことによります。

7 財務活動によるキャッシュ・フロー

支出の主な要因は、配当金の支払額が1,259,124千円あったことによります。

決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

株式の状況

株式の分布

大株主

株主メモ

会社概要

商号 株式会社ファンコミュニケーションズ
本社所在地 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-1-8
青山ダイヤモンドビル
設立 1999年10月1日
資本金 11億7,367万円
従業員数 単体435名
(アルバイト、派遣社員含む)
グループ合計487名
(アルバイト、派遣社員含む)
会計監査人 有限責任 あずさ監査法人

役員 (2024年3月31日予定)

代表取締役社長	二宮 幸司	(にのみや こうじ)
取締役	柳澤 安慶	(やなぎさわ やすよし)
取締役	松本 洋志	(まつもと ひろし)
取締役	吉永 敬	(よしなが たかし)
社外取締役	小尾 一介	(おび かずすけ)
社外取締役	穂谷野 智	(ほやの さとし)
取締役(常勤監査等委員)	佐藤 吉勝	(さとう よしかつ)
社外取締役(監査等委員)	丸野 登紀子	(まるの ときこ)
社外取締役(監査等委員)	小泉 正明	(こいずみ まさあき)

決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

株式の状況

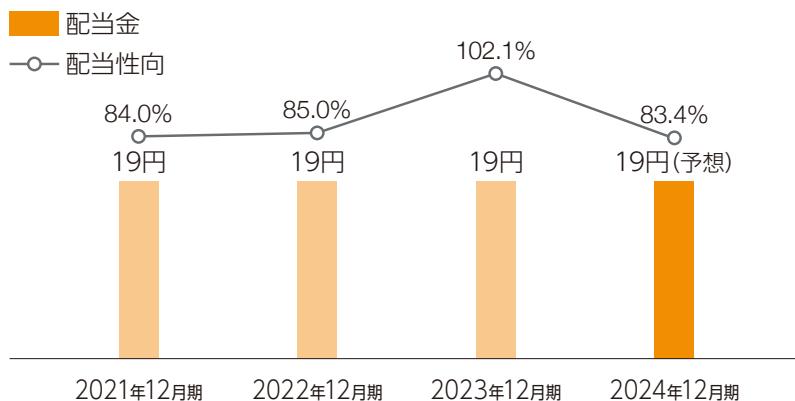
株式の分布

大株主

株主メモ

配当方針／配当金・配当性向

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を実施する目的から、配当性向を連結純利益の50%程度としています。しかし、株主に対する継続的な還元も鑑み、2024年12月期の配当予想を引き続き1株当たり19円としております。



株式の状況

発行可能株式総数	240,000,000株
発行済株式総数	76,930,032株
株主数	12,652名

決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

株式の状況

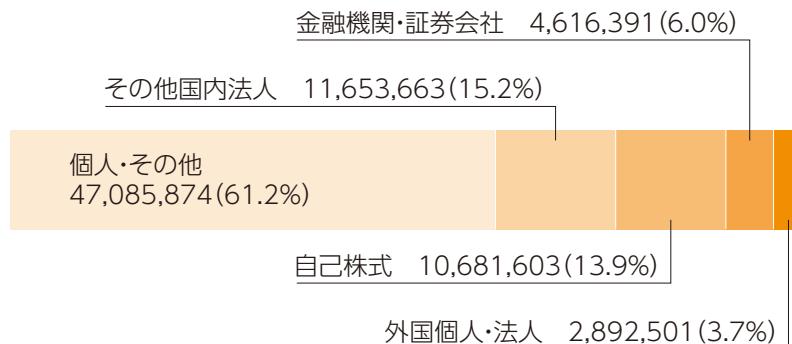
株式の分布

大株主

株主メモ

株式の分布

所有者別株式分布状況



大株主 (上位10名)

株主名	所有株数	持株比率
柳澤安慶	27,783,600	36.12%
自社(自己株口)	10,681,603	13.88%
光通信株式会社	5,494,700	7.14%
株式会社UH Partners 2	4,975,500	6.47%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,364,900	4.37%
松本洋志	1,671,000	2.17%
杉山紳一郎	1,004,400	1.31%
アール・シー・ワイ・ブラザーズ株式会社	935,300	1.22%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	623,100	0.81%
内田徹	618,700	0.80%

決算のご報告

財務ハイライト

当期の業績

セグメント別の状況

トップインタビュー

財務諸表

連結貸借対照表

連結損益計算書

連結キャッシュ・フロー計算書

会社情報

会社概要

役員

株式情報

配当方針／配当金・配当性向

株式の状況

株式の分布

大株主

株主メモ

株主メモ (株式会社のご案内)

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 中間配当を実施するときは6月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人 および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	 0120-782-031
(ウェブサイトURL)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法	当社のホームページに掲載する < https://www.fancs.com/ > ただし、やむをえない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場(証券コード2461)

FANCOM

株式会社ファンコミュニケーションズ

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-1-8 青山ダイヤモンドビル
社長室 IR 担当：Tel. 03-5766-3530 Fax. 03-5766-3782

<https://www.fancs.com/>